



USB オートラン定義ファイル作成ツール ユーザーズ マニュアル

SmartAXIS FT2J/1J形

**MICRO/I HG2J/1J形、HG5G/4G/3G/2G-V形、
HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P 形**

改定履歴

2011年6月	初版発行
2013年6月	第2版発行
2019年12月	第3版発行
2022年1月	第4版発行
2023年9月	第5版発行
2024年7月	第6版発行

はじめに

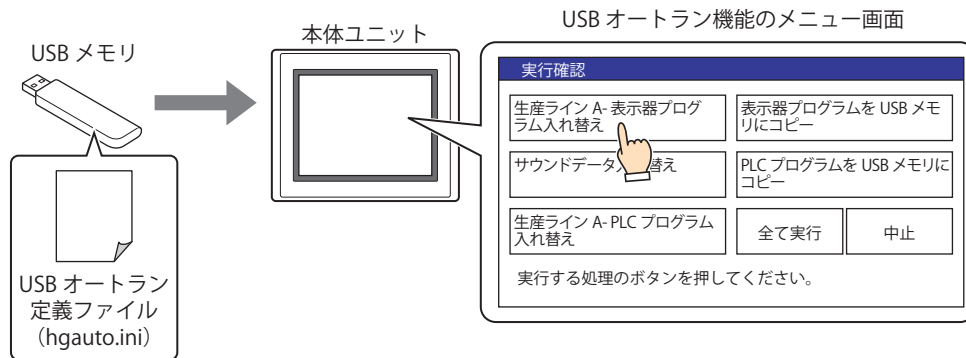
USBオートラン機能を利用する際に必要なUSBオートラン定義ファイルは、USBオートラン定義ファイル作成ツールを使用することで簡単に作成できます。

USBオートラン機能の詳細は、WindO/I-NV4 ユーザーズ マニュアルを参照してください。

改定履歴	1
はじめに	1
1 USBオートラン機能の概要.....	3
2 USBオートラン定義ファイル作成ツールのメニュー	4
3 USBオートラン定義ファイルを作成する	5
3.1 USBオートラン定義ファイルの作成手順.....	5
3.2 USBオートラン定義ファイルの設定	6
3.3 コマンド設定ダイアログボックス	7

1 USBオートラン機能の概要

本体ユニットにUSBメモリを挿入するだけで自動的にメニュー画面を表示し、メニュー画面のボタンを押すとあらかじめ設定しておいたコマンドを実行する機能です。



- 実行する処理をコマンドと呼び、コマンドの内容やメニュー画面の詳細について記述したファイルを USB オートラン定義ファイル (hgauto.ini) と呼びます。
- USB オートラン機能を利用する場合は、USB メモリにあらかじめ USB オートラン定義ファイル (hgauto.ini) を保存しておく必要があります。

2 USBオートラン定義ファイル作成ツールのメニュー

メニューから実行できるコマンドは、次のとおりです。

メニュー	コマンド	内容
ファイル	新規作成	編集中のUSBオートラン定義ファイルを破棄し、新しいUSBオートラン定義ファイルを作成します。
	開く	作成済みのUSBオートラン定義ファイルを開きます。
	上書き保存	編集中のUSBオートラン定義ファイルを上書き保存します。
	名前を付けて保存	編集中のUSBオートラン定義ファイルに名前を付けて保存します。
	終了	USBオートラン定義ファイル作成ツールを終了します。
ヘルプ	ヘルプを開く	USBオートラン定義ファイル作成ツールのヘルプを開きます。
	USBオートラン定義ファイル作成ツールについて	USBオートラン定義ファイル作成ツールのバージョン情報を表示します。

3 USBオートラン定義ファイルを作成する

3.1 USBオートラン定義ファイルの作成手順

次の手順に従って、USBメモリにUSBオートラン定義ファイルを作成します。

- 1 パソコンのUSBポートにUSBメモリを挿入します。



- 2 USBオートラン定義ファイル作成ツールを起動します。
- 3 USBオートラン定義ファイルの各項目を必要に応じて設定します。
詳細は、6ページ「3.2 USBオートラン定義ファイルの設定」を参照してください。



- 4 [ファイル] メニューをクリックし、[名前を付けて保存] をクリックします。
[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。
- 5 USBメモリのドライブを指定し、[保存] ボタンをクリックします。
USBオートラン定義ファイル (hgauto.ini) が、USBメモリのルート上に作成されます。

3.2 USBオートラン定義ファイルの設定

■ ボタン数

作成するボタンの数（1～5）を指定します。

■ ボタン1～5を有効にする

ボタン1～5を有効にする場合は、このチェックボックスをオンにします。

チェックボックスをオフにした場合、[ボタン数] で指定した数のボタンは表示されますが、押しでも実行されません。

■ [全て実行] ボタンを表示する

[全て実行]ボタンを表示する場合は、このチェックボックスをオンにします。

■ 外部メモリフォルダー

外部メモリフォルダーの名前を入力します。最大文字数は半角で8文字です。

■ 言語

ボタンのラベルとメッセージで使用する言語を次の中から選択します。

“日本語”、“欧文”、“簡体字中国語”、“繁体字中国語”、“ハングル”、“中央ヨーロッパ言語”、“バルト諸国言語”、“キリル言語”

■ ボタン1～ボタン5

ボタンを押すと、実行するコマンドを設定または変更します。

このボタンをクリックすると、[コマンド設定] ダイアログボックスが開きます。ボタンに実行するコマンドを設定します。既に設定されているボタンを選択した場合には、設定されているコマンドを変更できません。詳細は、7ページ「3.3 コマンド設定ダイアログボックス」を参照してください。

[コマンド設定] ダイアログボックスで [タイトル] を入力すると、ボタンのラベルが表示されます。

■ [全て実行] ボタン

USBオートラン定義ファイル (hgauto.ini) に定義しているすべてのコマンドを順に実行するボタンです。[[全て実行] ボタンを表示する] チェックボックスをオンにした場合のみ表示されます。

■ [キャンセル] ボタン

USBオートラン機能のメニュー画面を閉じるボタンです。常に表示されます。

■ コメント

半角54文字×6行の合計半角324文字以内で入力します。

- ・自動的に改行しますが、任意の位置で改行できます。任意の位置で改行した場合は、自動的に¥nが挿入されるため半角2文字として計算されます。
- ・セミコロン (;) や円マーク (¥)、ダブルクォーテーション (") を使用する場合は、その文字の前にエスケープ文字の円マーク (¥) を自動的に挿入するため、半角2文字として計算されます。

3.3 コマンド設定ダイアログボックス

ボタン1～ボタン5を押したときに実行するコマンドを設定します。

■ ボタン

選択した実行ボタンの番号が表示されます。

■ タイトル

ボタンのラベルを半角26文字×2行の合計半角52文字以内で入力します。

- 自動的に改行しますが、任意の位置で改行できます。任意の位置で改行した場合は、自動的に¥nが挿入されるため半角2文字として計算されます。
- セミコロン (;) や円マーク (¥)、ダブルクォーテーション (") を使用する場合は、その文字の前にエスケープ文字の円マーク (¥) を自動的に挿入するため、半角2文字として計算されます。

■ コマンド

実行するコマンドを次の中から選択します。

“プロジェクトをダウンロードする”、“プロジェクトをアップロードする”、“ファイルをコピーする”、“PLCプログラムをダウンロードする”、“PLCプログラムをアップロードする”

以降の設定項目は、選択したコマンドに応じて表示されます。

“プロジェクトをダウンロードする”を選択した場合

コマンド(C):	プロジェクトをダウンロードする
転送元(S):	USBメモリまたはUSB2
場所(P):	HGDATA01\NVDATA\HG3G_DEMO_1.ZNV
	外部メモリ フォルダー(D)
転送先:	MICRO/1
	<input type="checkbox"/> キープデバイスをクリアする(K)
	<input checked="" type="checkbox"/> ダウンロード後、自動的にラダープログラムを実行する(N)

転送元： 転送用のプロジェクト ファイル (ZNX プロジェクト ファイル^{※1}またはZNV プロジェクト ファイル) を保存した外部メモリを“SDメモリ カードまたはUSB1”または“USBメモリまたはUSB2”から選択します。

場所： ZNX プロジェクト ファイル(znx)^{※1}またはZNV プロジェクト ファイル(znv) のファイルパスを指定します。最大文字数は247文字です。半角英数字および記号のみ使用できます。パスの区切り文字および使用できない文字は、機種によって異なります。

機種	区切り文字	使用できない文字
FT2J/1J形、HG2J/1J形	/	"#\$&'()* *.;<>?¥` ~
HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形	¥	"*.;<>?

例) 外部メモリのルート上にZNV プロジェクト ファイル「HG3G_DEMO_1.ZNV」を保存した場合
HG3G_DEMO_1.ZNV

[外部メモリ フォルダー] ボタン： このボタンをクリックすると、[外部メモリ フォルダー] の設定にしたがって、[場所] にフォルダーパスを挿入します。[外部メモリ フォルダー] は [USB オートラン定義ファイル作成ツール] ダイアログボックスで設定します。

例) 外部メモリ フォルダー名が「HGDATA01」の場合
「HGDATA01\NVDATA¥」が挿入されます。

転送先： プロジェクトのダウンロード先が表示されます。

キープデバイスをクリアする： プロジェクト データをダウンロードしたあとにキープ デバイスをクリアする場合は、このチェック ボックスをオンにします。ただし、OS、システムソフト、またはデータ保持領域の設定を変更したプロジェクト データをダウンロードすると、常にキープ デバイスをクリアします。

ダウンロード後、自動的にラダープログラムを実行する：

プロジェクト データをダウンロードしたあとにラダー プログラムの実行を開始する場合は、このチェックボックスをオンにします。このオプションは、FT2J/1J形用のプロジェクト ファイルをダウンロードする場合のみ有効です。

※1 FT2J/1J形、HG2J/1J形のみ

“プロジェクトをアップロードする”を選択した場合

コマンド(C): プロジェクトをアップロードする

転送元: MICRO/1

転送先(D): USBメモリまたはUSB2

場所(A):

外部メモリ フォルダ(X)

転送先： 本体ユニットからアップロードしたプロジェクトの保存先を指定します。外部メモリを“SDメモリ カードまたはUSB1”または“USBメモリまたはUSB2”から選択します。

場所： アップロードしたプロジェクトの保存先のフォルダ パスを指定します。最大文字数は247 文字です。半角英数字および記号のみ使用できます。パスの区切り文字および使用できない文字は、機種によって異なります。

機種	区切り文字	使用できない文字
FT2J/1J形、HG2J/1J形	/	"#\$&'()*:;<>?¥` ~
HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形	¥	"*:*;<>?

例) 外部メモリの「Uploaded_Project」フォルダに保存する場合
Uploaded_Project

[外部メモリ フォルダ] ボタン： このボタンをクリックすると、[外部メモリ フォルダ] の設定にしたがって、[場所] にフォルダ パスを挿入します。[外部メモリ フォルダ] は [USB オートラン定義ファイル作成ツール] ダイアログボックスで設定します。

例) 外部メモリ フォルダ名が「HGDATA01」の場合
「HGDATA01¥NVDATA¥」が挿入されます。

“ファイルをコピーする”を選択した場合

コマンド(C):	ファイルをコピーする
転送元(S):	USBメモリまたはUSB2
場所(P):	Error.wav
	外部メモリ フォルダー
転送先(D):	USBメモリまたはUSB2
場所(A):	HGDATA01\SOUND
	外部メモリ フォルダー

転送元： コピー元の外部メモリを“SDメモリ カードまたはUSB1”または“USBメモリまたはUSB2”から選択します。

場所： コピー元のファイルのファイルパス、またはコピー元フォルダーのフォルダーパスを指定します。最大文字数は247文字です。半角英数字および記号のみ使用できます。パスの区切り文字および使用できない文字は、機種によって異なります。

機種	区切り文字	使用できない文字
FT2J/1J形、HG2J/1J形	/	"#\$&'()*:*;<>?¥` ~
HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形	¥	"*:*;<>?

例) 外部メモリのルート上にサウンドファイル「Error.wav」を保存した場合
Error.wav

[外部メモリ フォルダー] ボタン： このボタンをクリックするとドロップダウンメニューを表示します。ドロップダウンメニューの項目をクリックすると、[外部メモリ フォルダー] の設定にしたがって、[場所] にフォルダーパスを挿入します。[外部メモリ フォルダー] は [USB オートラン定義ファイル作成ツール] ダイアログボックスで設定します。

例) 外部メモリ フォルダー名が「HGDATA01」の場合

「HGDATA01¥（作成するフォルダー）¥」が挿入されます。

転送先： コピー先の外部メモリを“SDメモリ カードまたはUSB1”または“USBメモリまたはUSB2”から選択します。

場所： コピー先フォルダーのフォルダーパスを指定します。最大文字数は247文字です。半角英数字および記号のみ使用できます。パスの区切り文字および使用できない文字は、機種によって異なります。

機種	区切り文字	使用できない文字
FT2J/1J形、HG2J/1J形	/	"#\$&'()*:*;<>?¥` ~
HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形	¥	"*:*;<>?

例) 外部メモリの「HGDATA01」フォルダーの「SOUND」フォルダーに保存する場合
HGDATA01¥SOUND

[外部メモリ フォルダー] ボタン: このボタンをクリックするとドロップダウンメニューを表示します。ドロップダウンメニューの項目をクリックすると、[外部メモリ フォルダー] の設定にしたがって、[場所] にフォルダーパスを挿入します。[外部メモリ フォルダー] は [USBオートラン定義ファイル作成ツール] ダイアログボックスで設定します。

例) 外部メモリ フォルダー名が「HGDATA01」の場合
「HGDATA01¥(作成するフォルダー) ¥」が挿入されます。

選択項目	作成するフォルダー
外部メモリ フォルダー	HGDATA01¥ (USBメモリのルート上に挿入されます。)
アラーム履歴のファイル	ALARMLOG
データ履歴のファイル	DATALOG
操作履歴のファイル	OPERATIONLOG
スクリーンショット	CAPTURE
レシピファイル	RECIPE
MICRO/Iで使用する画像ファイル	PICTURE
MICRO/Iで使用する音声ファイル	SOUND
ZNV/ZNX プロジェクト ファイル	NVDATA
ZLDプロジェクト ファイル	LDRDATA
動画ファイル	MOVIE
録画した動画ファイル	RECORD

“PLCプログラムをダウンロードする”を選択した場合

コマンド(C):	PLC プログラムをダウンロードする	
転送元(S):	USBメモリまたはUSB2	
場所(P):	<input type="text"/>	
	外部メモリ フォルダ(D)	
転送先(D):	インターフェイス(E):	COM1
	スレーブ番号(N):	0

転送元： 転送用のPLCプログラムファイル（.ZLD）を保存した外部メモリを“SDメモリカードまたはUSB1”または“USBメモリまたはUSB2”から選択します。

場所： 転送用のPLCプログラムファイル（.ZLD）のファイルパスを指定します。最大文字数は247文字です。半角英数字および記号のみ使用できます。パスの区切り文字および使用できない文字は、機種によって異なります。

機種	区切り文字	使用できない文字
FT2J/1J形、HG2J/1J形	/	"#\$&'()* *;<>?¥` ~
HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形	¥	" *;<>?

例) SDメモリカードまたはUSBメモリの「LDRDATA」フォルダにPLCプログラムファイル「LDR_PROGRAM.ZLD」を保存した場合
LDRDATA¥LDR_PROGRAM.ZLD

[外部メモリフォルダ] ボタン： このボタンをクリックすると、[外部メモリフォルダ] の設定にしたがって、[場所] にフォルダパスを挿入します。[外部メモリフォルダ] は [USBオートラン定義ファイル作成ツール] ダイアログボックスで設定します。

例) 外部メモリフォルダ名が「HGDATA01」の場合
「HGDATA01¥LDRDATA¥」が挿入されます。

転送先： インターフェイス： PLCを接続している本体ユニットのポートを次の中から選択します。
"COM1"、"COM2"、"イーサネット"

スレーブ番号： ダウンロード先のPLCのスレーブ番号を0～31で指定します。
[インターフェイス] で"COM1"または"COM2"を選択した場合のみ設定できます。

接続機器IDを指定する： ダウンロード先のPLCの接続機器IDを0～31で指定します。
[インターフェイス] で"イーサネット"を選択した場合のみ設定できます。

IPアドレスを指定する： ダウンロード先のPLCのIPアドレスとポート番号を指定します。
[インターフェイス] で"イーサネット"を選択した場合のみ設定できます。

“PLCプログラムをアップロードする”を選択した場合

コマンド(C):	PLC プログラムをアップロードする	
転送元(S):	インターフェイス(E):	COM1
	スレーブ番号(N):	0
転送先(D):	USBメモリまたはUSB2	
場所(A):	<input type="text"/>	
	外部メモリ フォルダ(X)	

- 転送元：** インターフェイス： PLCを接続している本体ユニットのポートを次の中から選択します。
"COM1"、"COM2"、"イーサネット"
- スレーブ番号： アップロード元のPLCのスレーブ番号を0～31で指定します。
[インターフェイス] で"COM1"または"COM2"を選択した場合のみ設定できます。
- 接続機器IDを指定する： アップロード元のPLCの接続機器IDを0～31で指定します。
[インターフェイス] で"イーサネット"を選択した場合のみ設定できます。
- IPアドレスを指定する： アップロード元のPLCのIPアドレスとポート番号を指定します。
[インターフェイス] で"イーサネット"を選択した場合のみ設定できます。
- 転送先：** 本体ユニットに接続しているPLCからアップロードしたPLCプログラムの保存先を指定します。外部メモリを"SDメモリカードまたはUSB1"または"USBメモリまたはUSB2"から選択します。
- 場所：** アップロードしたPLCプログラムファイルの保存先のフォルダパスを指定します。最大文字数は247文字です。半角英数字および記号のみ使用できます。パスの区切り文字および使用できない文字は、機種によって異なります。

機種	区切り文字	使用できない文字
FT2J/1J形、HG2J/1J形	/	"#\$&'()* *.;<>?¥` ~
HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形	¥	" *.;<>?

例) 外部メモリの「Uploaded_Program」フォルダに保存する場合
Uploaded_Program

[外部メモリ フォルダ] ボタン： このボタンをクリックすると、[外部メモリ フォルダ] の設定にしたがって、[場所] にフォルダパスを挿入します。[外部メモリ フォルダ] は [USBオートラン定義ファイル作成ツール] ダイアログボックスで設定します。

例) 外部メモリ フォルダ名が「HGDATA01」の場合
「HGDATA01¥LDRDATA¥」が挿入されます。



作成したUSBオートラン定義ファイルおよびフォルダの構成についての詳細は、WindO/I-NV4 ユーザーズ マニュアルを参照してください。

IDEC株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64

 jp.idec.com



お問合せはこちらから

- ・本マニュアル中に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。
- ・仕様、その他記載内容は予告なしに変更する場合があります。

B-1368(5) 本マニュアル記載の情報は、2024年7月現在のものです。

